

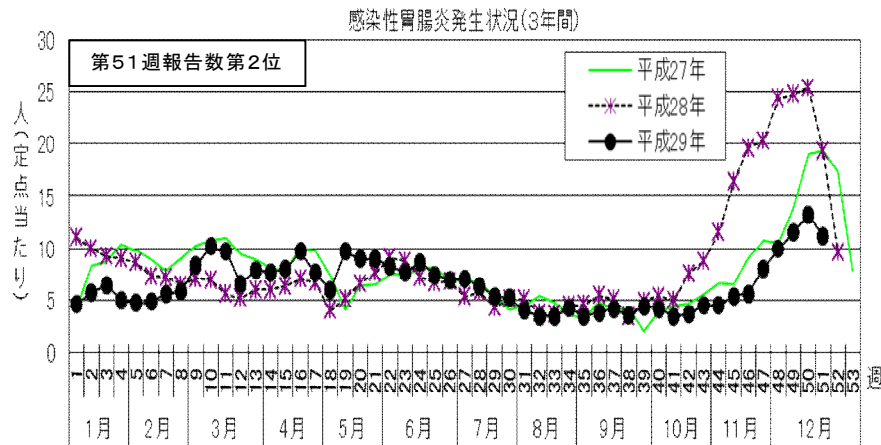
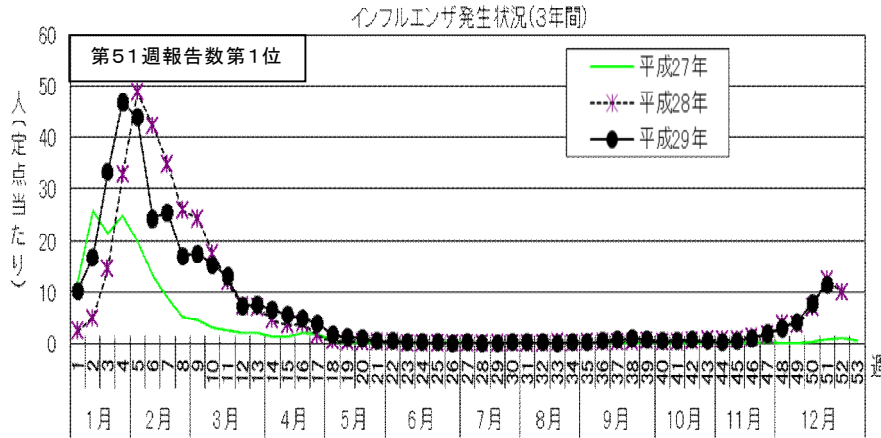
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年12月18日（月）～平成29年12月24日（日）〔平成29年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は11.49人と前週（7.77人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は11.16人と前週（13.27人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.76人と前週（4.46人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

★インフルエンザウイルス★
インフルーくん



インフルエンザ流行発生注意報発令！

川崎市では、インフルエンザの平成29年第51週（12月18日～12月24日）の定点当たり患者報告数が11.49人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、A型インフルエンザは前週から引き続き、市内全域で報告数が多くなっています。また、B型インフルエンザは前週と比較して、大幅に報告数が増加しています。

咳エチケットや手洗い等の予防対策を心がけましょう。

